

高知港海岸漂着ごみ組成調査

R5 年度調査結果

1. 調査概要

- 【目的】
- 高知港海岸において、継続的に海岸漂着物の組成や存在量を把握し、さらに、それらの経年変化を把握することで漂着ごみ等の発生抑制対策の検討や県民への啓発に活用する。
- 【調査方法】
- 調査は環境省「地方公共団体向け漂着ごみ組成調査ガイドライン」に基づき調査を実施する。
 - 漂着ごみの回収実績等をボランティア団体へヒアリング。
- 【業務範囲と調査対象地点】（図 1-1）
- 調査は高知市浦戸の桂浜（東浜）で実施した。
- 【調査日】
- 令和 6 年 1 月 24 日に実施した。



図 1-1 調査地点

2. 調査結果（令和 5 年度の漂着物の分類結果及び過年度との比較）

【2 分類（自然物と人工物）での比較】（図 2-1～図 2-2）

- 令和 5 年度の回収ごみは自然物、人工物とも極端に少なかった。自然物の個数と重量は令和 3 年度より多かったものの、令和 2 年度、令和 4 年度よりも少なく、容積は 4 か年で最少であった。また、人工物の個数、容積、重量はいずれも過去最少であった（図 2-1）。
- 令和 2 年度の現存量が多かった理由として、コロナ禍に伴う行動制限（移動自粛等）により、ボランティアによる清掃活動や公園管理上必要な清掃活動の頻度が低下したためと考えられる。一方、令和 3 年度には外出制限が解除され、令和 4 年度以降は連続テレビ小説「らんまん」の放送等により桂浜への観光客が増加し、清掃活動の頻度が高まったため（桂浜公園管理事務所への聞き取り結果）、現存量が減少したと考えられる。
- ただし、自然物と人工物の割合は各年とも個数では人工物、容積と重量では自然物の割合が高く、2 分類別の組成に大きな変化はみられなかった（図 2-2）。

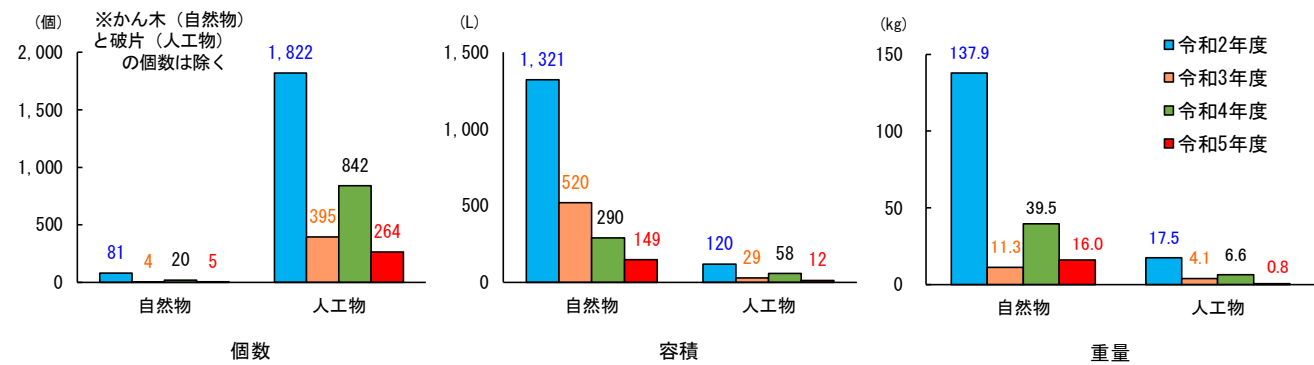


図 2-1 各年の自然物と人工物の個数、容積及び重量

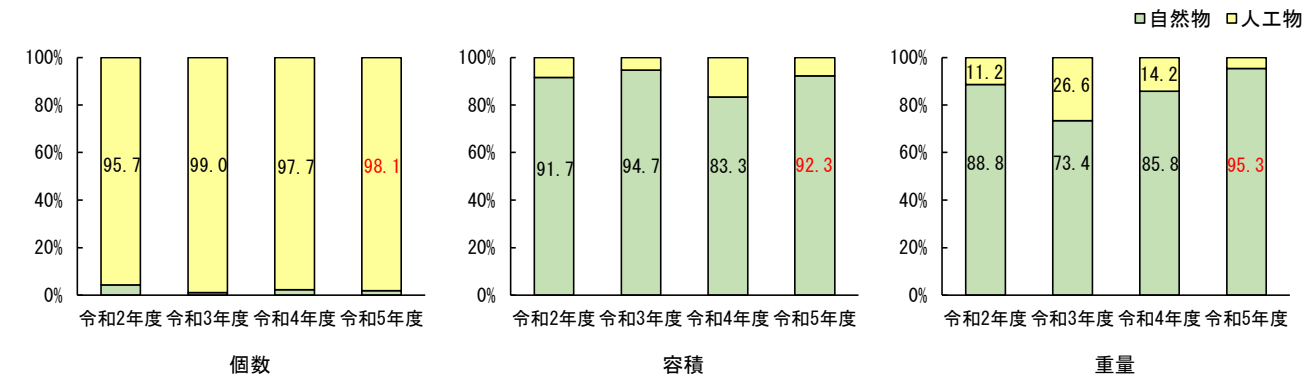


図 2-2 各年の自然物と人工物の割合

【人工物の大分類別の組成】（図 2-3）

- 人工物の組成は年によって異なるものの、4 か年とも個数、容積及び重量でプラスチックの割合が高かった。
- 個数、容積、重量のいずれも、ガラス・陶器、金属、紙・段ボール、天然繊維・革、電化製品・電子機器の割合は 4 か年とも概ね低かった。

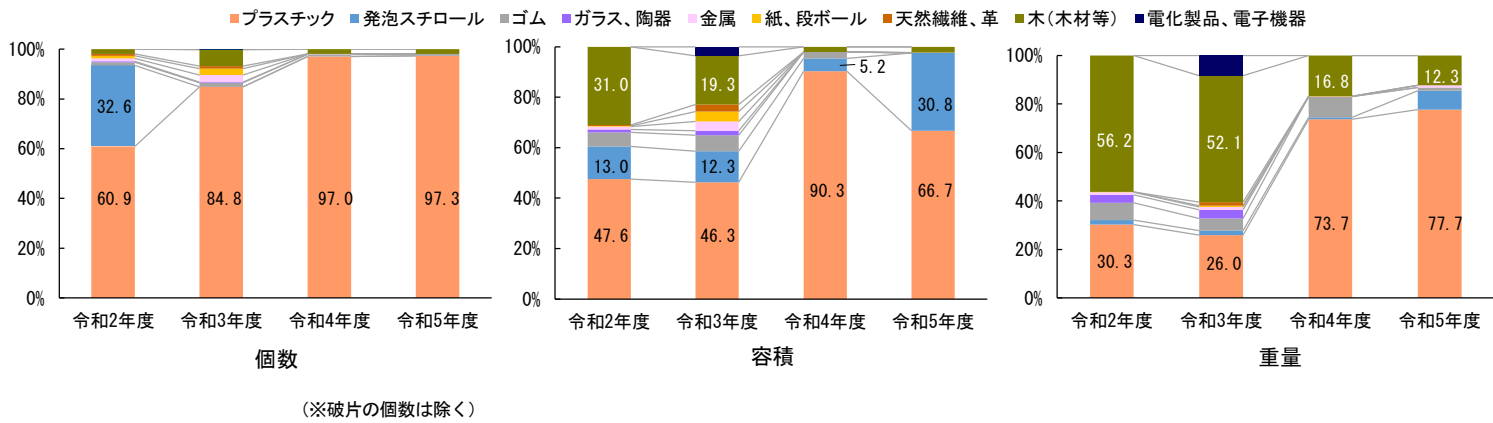


図 2-3 各年の人工物の大分類別の組成

【プラスチックと発泡スチロールの分類】（図 2-4）

- 回収したプラスチックと発泡スチロールを「容器包装」、「製品」、「海域由来」、「品目による」、「その他」の 5 項目に分類し、過年度と比較すると、清掃の頻度が上昇した令和 3 年度から令和 5 年度にかけて「容器包装」の割合が低下し、「品目による」と「その他」の割合が上昇した。

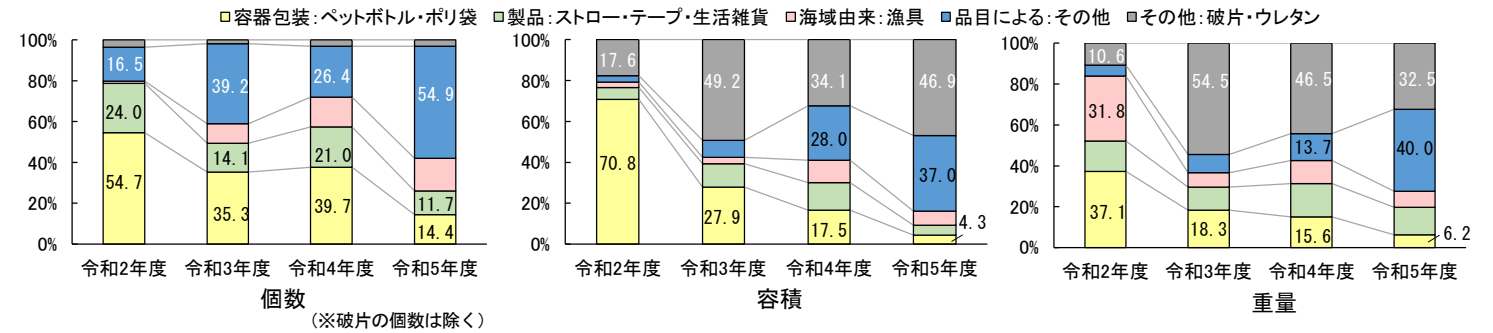


図 2-4 各年のプラスチックと発泡スチロールの分類

3. ヒアリング調査結果（表 3-1～表 3-2）

- 45 海岸を対象にボランティア団体へヒアリングを実施したところ、漂着ごみの量は高知県東部と西部で多く、中部で少ない印象。ごみの多さはプラスチック、ペットボトルが共通し、東部では缶、漁具（網、ブイ）、中部では発泡スチロール、西部では流木等の自然物、漁具、発泡スチロールも多かった。外国製のごみ（主に中国と韓国）は県下全域で見つかったが、量は少なかった。過年度からのごみの増減について、3 海岸で増加、8 海岸で減少、12 海岸で変化なし、10 海岸で不明との回答であった。
- 海岸清掃活動に関する課題として、参加者の不足と高齢化、ごみ処理の問題が挙げられた。ごみ処理については、費用の負担が大きいこと、埋立処分の場合に環境面に不安があるとの回答が得られた。また、漁具等の大型ごみは裁断して小型化しないといけないため、処理が困難であるとの回答も得られた。

表 3-1 令和5年度の高知県西部におけるヒアリング結果（ヒアリング実施時点）

	海岸番号	海岸名	清掃時期	回数 (回)	参加人数 (人)	ごみの量	内 訳																外国製のごみ			
							流木	木片	プラスチック	ペットボトル	ペットボトル蓋	発泡スチロール	トレイ	食品容器包装	ビニール	漁具			たばこ	ライター	缶	ビン		ゴム製品	タイヤ	ポイ捨てのごみ
																網	ブイ	ロープ								
高知県西部	1	咸陽海岸、大島漁港海岸、脇本海岸、（松田川親水公園）含む	7月	1	103	2,010kg（フロートを除く）	多	多		多		多					多				多	多				不明
	2	大月町芳ノ澤 白浜海岸	2～3年前まで行っていたが、現在は未実施																							
	3	大月町安満地 岡崎の浜（調査として実施）	11月	1	4	把握していない										多	多	多								不明
	4	橋浦漁港海岸周辺（5か所の浜）	7月	1～2	60	3t車約5台分	多									多										無
	5	柏島漁港海岸	3月～11月	適宜	1～3	年間で1t車10台分程度			多			多														有（中国・韓国）
	6	沖の島漁港海岸	5月	1	30	フレコンバック20～30袋						多			多	多	多									有（韓国）
	7	竜串漁港海岸	7月	2	20～25	4t車3台分、軽四トラック3台分	多	多																		無
		竜串漁港海岸、大岐海岸、土佐清水市近隣海岸	4月、5月、9月、10月、11月	5	2～5	市指定のごみ袋大Lサイズが平均で2袋	多		多		多			多												少（中国）
	8	名鹿漁港海岸	5月、8月、11月	3	5～13	把握していない	多		多			多														不明
			出水後	不明	2～3		多		多			多														
	9	下田港海岸周辺	通年	－	8	把握していない			多	多		多				多	多				多	多				有（韓国）
	10	平野海岸	ヒアリング時点で今年度は実施していない（3/17に実施予定）																							
			5月、6月、10月、11月	各月1回	8～17	2t車1台分			多	多	多					多	多	多								有（中国・韓国）
	11	双海海岸	地域住民が2名程で自主的に清掃（詳細はヒアリング結果参照）																							
	12	横浜海岸	海岸清掃の情報なし																							
	13	入野海岸	5月、11月	2	25～65	5月は不明、11月は40ℓ×8袋										多	多	多						多	多	無
		入野海岸、浮鞭海岸、浮津漁港海岸	4月、11月	2	150前後	150kg（4月）、2t車1台分（11月）	多		多			多			多	多	多	多								不明
		浮鞭海岸	6月	1	50	30ℓ×20袋	多		多	多		多		多		多	多	多						多 （生活ごみ、農業用品、重油の塊）		不明
	14	上川口港海岸	11月	1	11	30ℓ×20袋	多			多																少（ベトナム・中国）
	15	灘漁港海岸	10月	1	25	30ℓ×43袋と45ℓ×60袋	多	多	多	多	多	多				多	多	多						多 （生活ごみ、農業用品）		不明
	16	白浜海岸～灘（2）海岸（耕）	海岸清掃の情報なし																							
17	佐賀港海岸、佐賀漁港海岸	今年度は実施していない																								
18	鈴漁港海岸	海岸清掃の情報なし																								
19	小室漁港海岸～小室浜海岸	5月、6月、7月、10月	4	43	大きなごみ袋に3袋程度	多		多			多									多	多				有（中国）	
20	志和漁港海岸周辺	昨年度と同様に、今年度も実施していない																								
21	久礼港海岸	10月	1	56	軽トラ2台分			多	多		多									多					不明	

表 3-2 令和 5 年度の高知県中部および高知県東部におけるヒアリング結果（ヒアリング実施時点）

	海岸番号	海岸名	清掃時期	回数 (回)	参加人数 (人)	ごみの量	内 訳																		外国製のごみ	
							流木	木片	プラスチック	ペットボトル	ペットボトル蓋	発泡スチロール	トレイ	食品容器包装	ビニール	漁具			たばこ	ライター	缶	ビン	ゴム製品	タイヤ		ポイ捨てのごみ
																網	ブイ	ロープ								
高知県中部	22	須崎港海岸	今年度は実施していない																							
	23	池の浦漁港海岸周辺	6～7月	1	数名	45ℓのごみ袋を数枚分	特になし（台風後に限り、流木、発泡スチロール、ペットボトルが多くなる）																無			
	24	宇佐漁港海岸周辺	7月	1	不明	不明				多		多												無		
	25	新居海岸～ 十市前浜海岸（耕）	4～12月	9	のべ 303	可燃ごみ308袋 不燃ごみ111袋 （4～12月までの結果）				多		多												有		
	26	仁淀川河口（右岸側）	7月、8月	2	54	30～45ℓのごみ袋42袋	不明																有			
	27	仁ノ海岸	7月	1	6～7	45ℓ×28袋				多		多								多					少（中国・韓国）	
		戸原海岸	2月	1	6～7	45ℓ×17袋				多		多								多						
	28	春野漁港海岸	5月、11月	2	20～34	高知市提供のごみ袋 46袋～47袋			多	多		多			多									有		
	29	高知港海岸	4月、5月	2	8	トン袋5～6袋	多		多	多														無		
			今年度は実施していない																							
			4月、9月、10月	3	18～35	10.1kg～35.9kg			多		多			多									多	少（中国）		
	30	赤岡漁港海岸	12月	1	33	不明				多		多	多	多		多	多	多			多	多		多	少（中国・台湾）	
	31	岸本海岸	12月	1	36	55.8kg			多	多		多													不明	
	32	手結港海岸周辺	4月、6月、12月	3	約30	合計でトラック12台分	多																	少（中国）		
			今年度は実施していない																							
高知県東部	33	芸西海岸	10月	1	15	2tトラック1台分		多		多														不明		
	34	赤野漁港海岸	今年度は実施していない																							
	35	安芸海岸、安芸漁港海岸	今年度は実施していない																							
	36	唐の浜海岸	11月	1	30	45ℓ×50袋			多															無		
	37	安田海岸	毎月1回	－	5～10名	各回軽四トラック1台分			多	多		多							多					無		
	38	羽根坂本海岸～羽根海岸	今年度は実施していない																							
	39	室津港海岸周辺	今年度は実施していない																							
	40	坂本海岸	9月	1	17	35.4kg			多	多	多					多	多	多						少（中国、韓国、ロシア）		
	41	室戸岬	通年	6	各回10～30	2 t 車1台分 （1回あたりの平均）				多						多	多	多			多				有（中国、韓国）	
	42	丸山海岸	5月	1	34	28.7kg	多		多		多	多				多	多	多						少（中国、台湾）		
	43	椎名海岸	今年度は回答を得られなかった																							
	44	椎名漁港海岸周辺	7月	1	不明	室戸市指定ごみ袋50袋分	多	多	多	多										多				少		
45	甲浦港海岸	7月	1	34	県支給の指定袋の半分程度（およそ20ℓ）	不明																				